

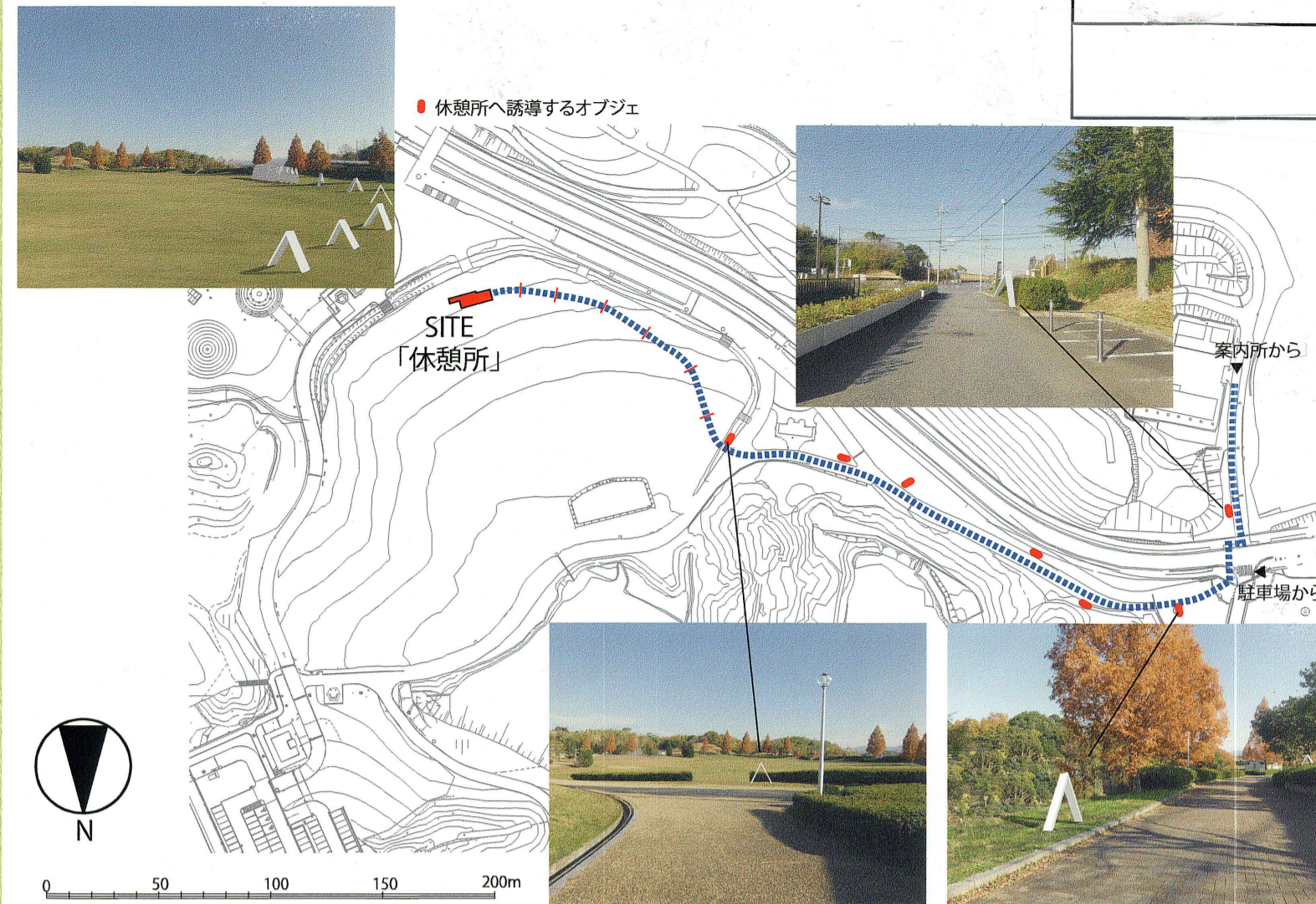


REFINE  
LANDSCAPE

CONCEPT

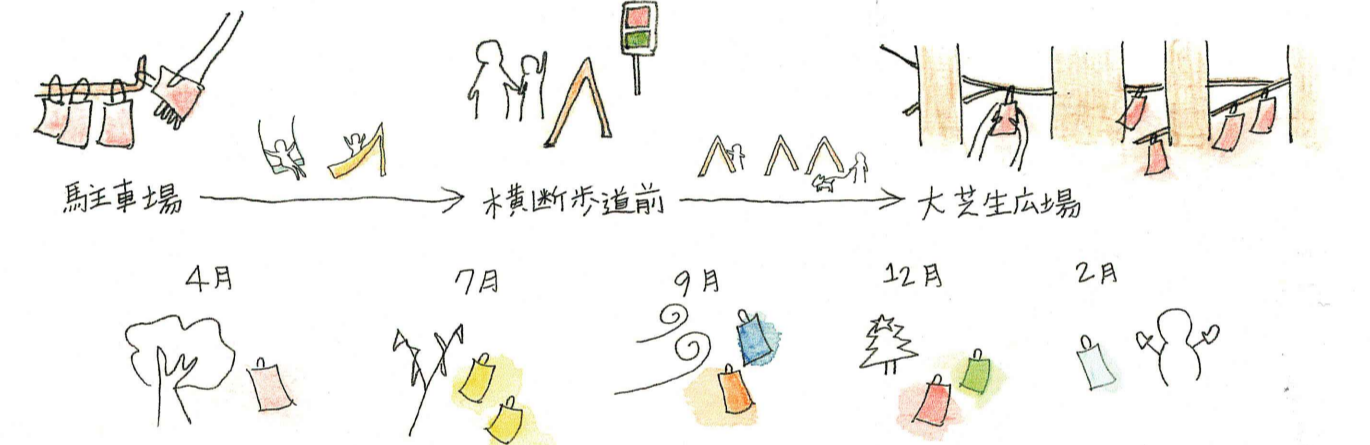
私たちがとった来園客のアンケートでは、「今ある風景が好きなので休憩所は欲しくない」という声が多かった。今回、私たちは原風景を大切にしながら大芝生広場の豊かなランドスケープをより多くの人に知ってもらえるきっかけとなるような休憩所を計画した。休憩所が広場から見える歩道橋や側道を隠すのでさらにシームレスに広がりがある広場となる。またオプション提案になるが、公園入口から大芝生広場に続く道には休憩所と一体となる三角形のオブジェを配置し、必然的に休憩所へと誘引されるしかけを計画した。

WAYFINDING



SPEND THE...

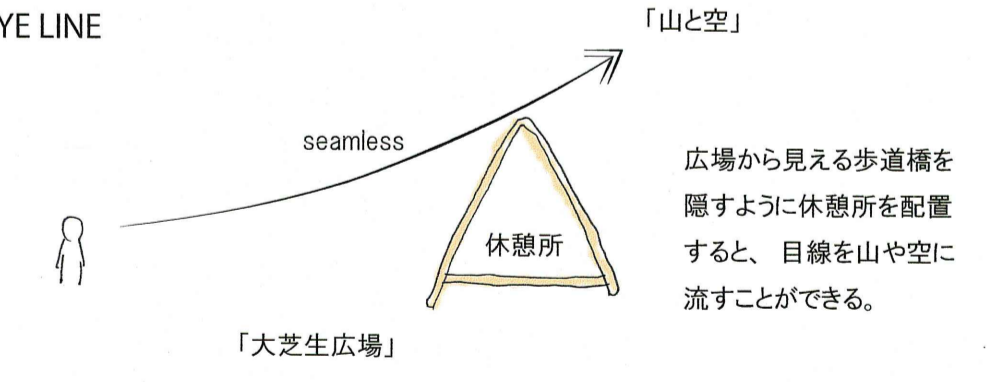
休憩所を彩ることで季節ごとの風景を楽しむことができる。駐車場で飾りを配ることで大芝生広場への誘導にもなる。自分が飾り付けに参加することでさらに愛着の湧く場所となる。



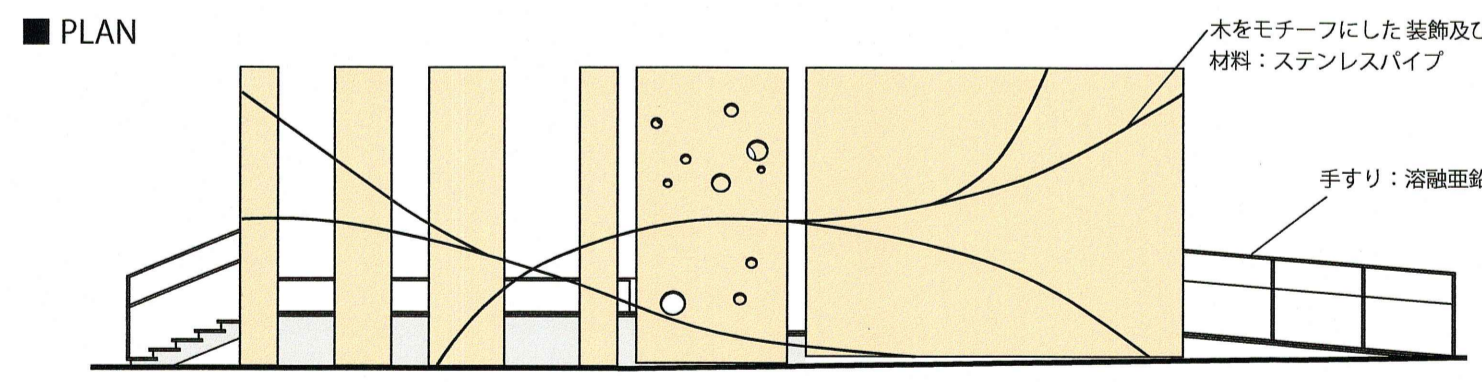
建築概要

<p>建築面積: 52.90㎡</p> <p>算定式 B+C B: 5.25×4.00=21.00 C: 7.25×4.40=31.90</p>	<p>主な仕上</p> <p>外壁・屋根: CLT(3層サプライ) 床・ベンチ・デスク: 天然木デッキ材 (マリンバ程度) ※木部はすべて高耐久水性保護塗料塗り</p>	<p>構造形式: 木造(GLTパネル工法)</p> <p>想定工事予算: 2,800万 ※オブジェはオプション提案</p>
--	--	---

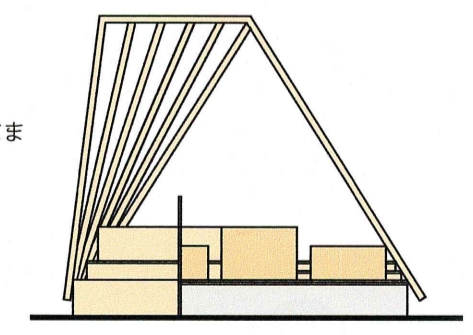
EYE LINE



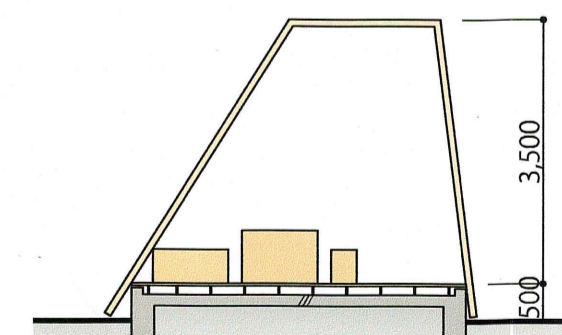
PLAN



南立面図 S=1:100



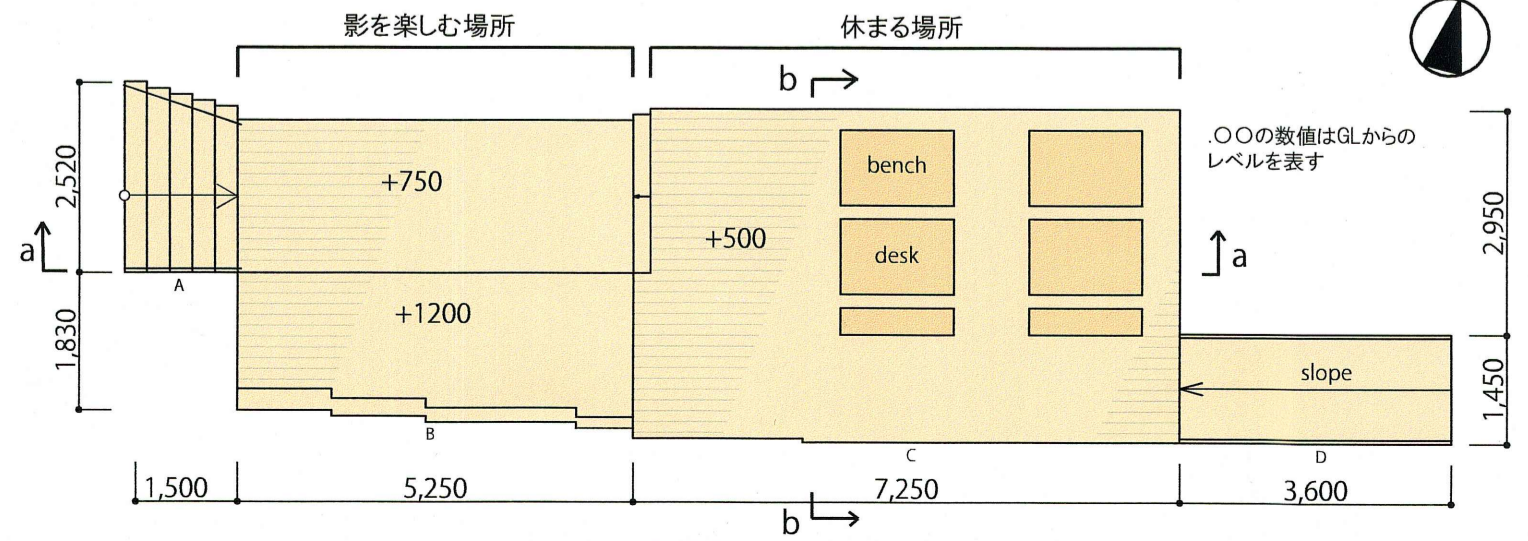
東立面図 S=1:100



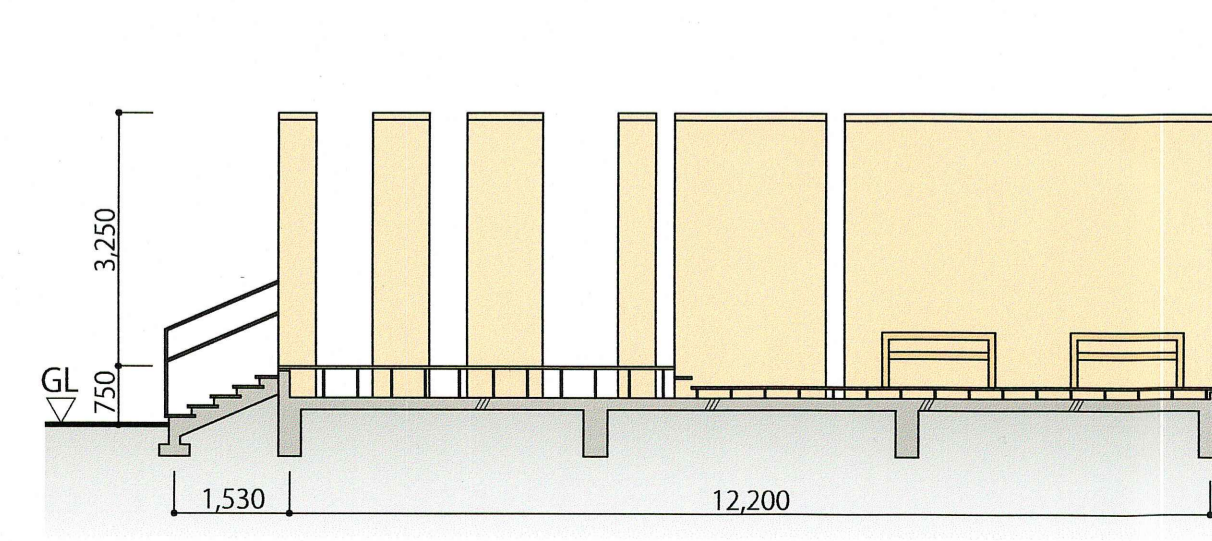
b-b 断面図 S=1:100

ATTITUDE

“影があるから光は美しい”  
三角形から台形のグラデーションは、遊び場のようなワクワク感を演出し、時間帯によって様々な影を見ることができる。暗さを演出することで広場の明るさが際立つ空間になった。段差と明るさの違いを使い、「影を楽しむ場所」と「休まる場所」に分けて計画を行った。2つの空間をつなぐ幅の広い通路には円形の穴をあけ、子供たちが遊べるにぎわいのスペースにもなる。



平面図 S=1:100



a-a 断面図 S=1:100

